

人形師・永徳齋の技と美

武者人形

Samurai
Dolls

2016年4月16日(土)～5月15日(日)

時間 9:30～17:00(最終入館16:30)

会場 横浜人形の家 2階多目的室

入館料:大人<高校生以上>200円(税込) 小人<中学生・高校生>100円(税込)



2016年4月16日(土)～5月15日(日)

時間 9:30～17:00(最終入館16:30)

会場 横浜人形の家 2階多目的室

入館料:大人(中学生以上)200円(税込) 小人(3歳以上小学生以下)100円(税込)

高い品格を備え、主に皇族や公家、大名家、財閥など上流階級を中心に愛好された人形の名店「永徳齋」。

初代から三代まで、代々の永徳齋が制作した武者人形を中心に、明治から昭和三代にわたる物語を紹介します。

おもな展示



初代永徳齋の「神武天皇」

「永徳齋」の礎を築いた初代は特に雛や市松人形の名手とされました。一方で、写実的な人形を得意としたとも述べられ、制作の基礎である写生を身に付けていたことがうかがえます。



二代永徳齋の「鍾馗」

二代永徳齋は確かな技術をもとに躍動感にあふれた武者人形を生み出しました。



その中でも褐色のひげと髪を持ち、足を大きく開いて動きを感じさせる「鍾馗」は彼の代表作のひとつです。



三代永徳齋の「馬乗り小楠公」

20年近くをアメリカで過ごし、博覧会や博物館に展示する人形を制作していた三代は初代や二代とはまた異なる迫真性をもった人形を制作しました。小楠公の表情や衣装の細かさ、そして後ろ足だけで立つ馬のバランスにもご注目ください。

人形師・永徳齋の技と美

武者人形

Samurai Dolls



「馬乗り小楠公」



横浜人形の家

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町18番地 TEL 045-671-9361 FAX 045-671-9022 <http://www.doll-museum.jp>